

平成29年度第3回倉敷市地域包括支援センター運営協議会議事要旨

1 会議名

平成29年度第3回倉敷市地域包括支援センター運営協議会

2 開催日時

平成30年2月15日（木） 18:30～20:00

3 開催場所

倉敷市役所3階議会棟第2会議室

4 出席者

(1) 委員（12名）

植田 洋子 (倉敷市愛育委員会連合会)
甲加 和歌子 (岡山県薬剤師会倉敷支部)
佐藤 健志 (岡山県介護支援専門員協会倉敷支部)
諏訪 里美 (倉敷市栄養改善協議会)
田中 慶子 (岡山県看護協会倉敷支部)
田辺 牧美 (倉敷市議会保健福祉委員会)
津田 由起子 (倉敷市介護保険事業者等連絡協議会)
中田 雅章 (岡山県社会福祉士会)
永幡 純二 (岡山県備中県民局健康福祉部)
三浦 巧 (岡山弁護士会)
安原 恭子 (倉敷市社会福祉協議会)
脇谷 勇夫 (倉敷市連合医師会)

(※下記4名が欠席)

裏川 和子 (倉敷市老人クラブ連合会)
江良 克彦 (倉敷市民生委員児童委員協議会)
岡本 幸子 (倉敷ねたきり・認知症家族の会)
川西 三貴 (倉敷市内歯科医師会協議会)

(2) 事務局（10名）

吉田 昌司 (保健福祉局 参与)
渡邊 浩 (" 健康福祉部 次長)
小野 史恵 (地域包括ケア推進室 室長)
小野 剛 (健康長寿課 課長主幹)
渡辺 育男 (介護保険課 課長補佐)
本城 匡 (福祉援護課 主幹)

林 久雄 (地域包括ケア推進室 主任)
渡辺 貴志 (" 主任)
小野 貴美 (" 主事)
岡部 雅恵 (" 囑託)

5 議題

- (1) 小地域ケア会議等を通じた地域づくりの推進について
- (2) 平成29年度高齢者支援センターの巡回訪問について
- (3) 平成30年度高齢者支援センター事業計画(案)について
- (4) その他

6 傍聴者の数

無し

7 審議内容

1) 開会

2) あいさつ

吉田保健福祉局参与が開会挨拶

3) 議事

(1) 小地域ケア会議等を通じた地域づくりの推進について

事務局より説明。高齢者支援センター（児島西）より「認知症サポーターキッズ養成講座の取り組み」事例発表の後、質疑応答。

副会長

今後の参考になればということで、今回、校長が良かったからできたのかなと思いました。私も教育現場でスクールソーシャルワーカーをしておりますが、管理職が代わると前は良かったけど、今回はダメになることもあるので、学校評議委員会の方の視野からでも定例化できるような仕組みを作っていただけたらありがたいなと思います。

市の事務局としては、良い取組なので、できれば市全体で、総合学習の一環として位置づけてもらえるよう教育委員会に働きかけてもらえればと思います。センターだけの取組にしておくのは勿体ないので、市全体として広めてもらえたらと思います。

また、欲を言えば、色んなマスコミに取り上げてもらい、PRにつながったと思いますが、マイタウン児島には、センターの事も紹介してありますが、山陽新聞はイベント紹介の記事となっているので、メディアに依頼される時は、センターの事も記事にしてもらい、例えば認知症の相談は高齢者支援センターで承っています、というようなイベントだけでなくセンターのアピールもお願いしてもらえればと思いました。これは意見ではなく感想です。

委員A

小地域ケア会議には、小学校の校長はメンバーではないのでしょうか。以前、私が経験したところでは、校長先生もメンバーとして参加していましたが、他の学区の小地域ケア会議では違うのでしょうか。教えてください。

児島西高齢者支援センター職員

私たちが担当している本城小学校区では、校長先生はメンバーとして参加しておりません。

事務局

校長先生が参加されている地域もありますが、主には地域の民生委員や愛育委員等が中心となって構成されていて、校長先生については内容に応じてゲストとして呼び出すなど、各小地域ケア会議で臨機応変に対応しています。全体としては、校長先生がメンバーとして参加されているところは少ないと思いますが、児島西高齢者支援センターの事例のような取組や発表を通して、地域のネットワークが広がれば良いと考えています。

また、キッズについては、市内でモデル的に実施しておりますが、認知症サポーター養成講座は、児島地区をはじめ全地区で取り組んでいただいています。「認知症」ということが一つの材料となり、いろいろな方々が一緒に取り組むきっかけとして、認知症サポーター養成講座等を上手に使っていただき、地域の方々が自分達の事にしようとしていることが素晴らしいと思います。このような活動について、今後もセンターと共有していきたいと思います。

高齢者支援センター（玉島東）より「乙島ボランティアらんらん」事例発表の後、質疑応答。

委員B

道路運送法を詳しく知っているわけではありませんし、非常に良い取組だと思いますが、違法だと言われたときに非常に恐ろしいところがあり、道路運送法の懸念は確実に無い、ということ为先ほど確認までではないけど、運輸局と話をしたということですが、どういう話だったのでしょうか。

玉島東高齢者支援センター職員

県庁の職員もついてきてくれて、善意の寄付と謝礼ということで進めるという話でまとめて、料金や登録料については、実施方法としてうたっていません。そういう言葉の定義できちんと実施していきましょう、ということで行政の後押しをもらいました。

委員B

この地域包括支援センター運営協議会に弁護士会が委員として参加している意味がどういうところにあるかという、法的なアドバイスができる、ということだと思いますので、こういう時には遠慮なく御質問いただければと思います。すぐに分からなくても調べれば結論は必ず出ますので、もう動き出していることとはいえ、私の方でも検討してみます。

(2) 平成29年度高齢者支援センターの巡回訪問について
事務局より説明の後、質疑応答。

会長

提供サービスの偏りというのは、行政の方から指導しているのでしょうか。

事務局

はい、毎年、通知等で公正・中立性の確保について指導しています。また、巡回訪問等でも状況を確認させてもらっています。

(3) 平成30年度高齢者支援センター事業計画(案)について
事務局より説明。質疑応答の後、承認。

委員C

事例検討をケアマネジャー等がしておりますが、これまでセンターが毎年ケアマネジャーの後方支援ということで研修等をしてきていますが、地域ケア個別会議というのは、その中で計画的に組み込まれているものなのでしょうか。

事務局

「ケアマネ交流会」とは別でさせていただこうと思っています。地域ケア個別会議は、特に要支援等でこれからの生活においてQOLを高めていくために、リハビリ専門職や栄養士などの多職種が集まり事例について検討し、自立に向けた取組を考えていくというもので、今年度は「チャレンジ開催」ということで、来年度の本格実施に向けて各センターでデモ開催をしております。本格的に地域ケア個別会議を実施していくことに、センターも不安があるかと思しますので、市とセンターでプロジェクトチームをつくり、みんなで一緒に考えながら取り組み、積み上げていくこととしています。一度にはなかなかできるものではないと思っていますので、長期的な取組としながら、倉敷市としての地域ケア個別会議を作り上げていきたいと考えています。

会長

今までのケア会議と比べると、地域的な問題をもっと取り上げようとしているものですか。

事務局

今までは、虐待や困難事例の問題を「ミニ地域ケア会議」で取り上げていました。ミニ地域ケア会議は、個別の事例を対象としています。それに加えて、新たに「地域ケア個別会議」ということでさせていただこうと思っています。

会長

ミニ地域ケア会議と地域ケア個別会議の違いは何ですか。

事務局

ミニ地域ケア会議は、虐待や困難事例を対象としています。

会長

では、その他の問題を地域ケア個別会議で取り上げるのですか。

事務局

地域ケア個別会議を取り組ませていただくことで、地域の介護予防に関する事業についても、地域課題として出しあうことができ、それをもって小地域ケア会議で材料として上がってくることもあると思いますので、より地域ケア会議全体が連携をしていくということも狙いとしてあると思います。

(4) その他

事務局より倉敷市地域包括支援センターの職員に係る基準を定める条例の一部改正について説明。質疑なし。

4) 閉会

渡邊健康福祉部次長が閉会挨拶